

1. 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」※の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

※:エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代層支援プロジェクト。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) > 九電みらいの学校

エコ・マザー活動

子どもたちへの環境教育支援とご家庭における環境教育の担い手である保護者の皆さまへの環境情報提供を目的として、「エコ・マザー活動」を展開しています。

この活動は、九州各地で、地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境問題への「気づき」となる環境紙芝居の読み聞かせなどを行うことを通じ、小さなお子さまに環境に配慮することの大切さを伝える活動です。

2003年度から開始したこの活動は、2014年度までに2,800回以上実施し、およそ20万名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。



エコ・マザー活動の様子

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) > エコ・マザー活動

環境教育支援活動

学校教育や市民活動における環境教育支援の一環として、「山下池周辺の社有林」(大分県由布市)などにおいて、当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を市民団体の皆さまと協力しながら展開しており、2002年度からこれまで、およそ100団体、3,600名以上を受け入れました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) > 環境教育支援活動



山下池周辺の社有林での自然観察会の様子

出前授業

エネルギー・環境問題などについて、楽しみながら学んでもらう事を目的に、九州各地で出前授業を実施しています。2014年度は、小・中学校等で366回の出前授業を実施し、約15,000名の子どもたちとエネルギーや環境について考えました。

>>私の環境アクション

「電気の大切さ」と「省エネの必要性」を一生懸命伝えていきます

鹿児島支社企画・総務部 広報グループ

ふくしまさだみ
福島 貞巳



鹿児島支社エリアでは、2014年度、県内58か所の小・中学校の児童・生徒を対象に「エネルギー出前授業」を実施しました。

学習指導要領を踏まえて、「電気をつくるしくみ」、「地球環境問題とエネルギー」、「省エネ」をテーマに、さまざまな教材や実験道具を使った体験型の授業を行い、電気の大切さや省エネの必要性を伝えていきます。

授業では、積極的に発表し、目を輝かせながら話を聞き、たくさんの笑顔で実験する子ども達から、毎回、元気と力をもらっています。

今後も、分かりやすい授業になるよう創意工夫し、エネルギーに興味や関心をもってもらえるよう努めていきたいと思っています。



自転車発電機を使った授業の様子

用語集をご覧ください

>>エネルギー・環境教育
>>社有林

>>地球環境問題

子供たちへの環境教育は大切であり、
今後の社会にとって意義があると思う。

▶ P32 次世代層へのエネルギー・環境教育の展開

2. 九州ふるさとの森づくり

「九州ふるさとの森づくり」は、当社創立50周年を記念して2001年度から取り組んでいる植樹・育林(下草刈)活動であり、低炭素社会実現への寄与や生物多様性の保全を目的として九州各地で展開しています。2014年度は、約3,600名の皆さまのご協力により、9か所でボランティアによる植樹・育林活動などを実施しました。

なお、これまでの14年間でおよそ117万本を植樹し、延べ約15万人の方々にご参加いただきました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照)▶九州ふるさとの森づくり

活動実績(2014年度)

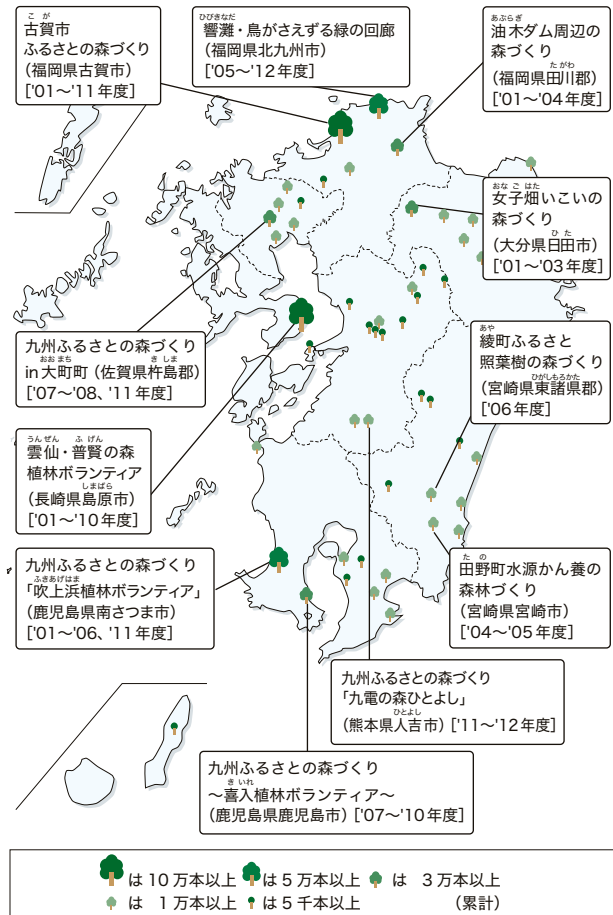
	地区	計画名	参加者数(人)
植樹活動※	北九州	ひびきなだ響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第10回植樹会	1,540
	福岡	森と海の再生交流事業 植樹祭	220
育林活動	佐賀	「ふるさとの森づくりin大町町」育樹作業	190
	その他	「古賀市ふるさとの森づくり(福岡)」など、九州各地6か所で下草刈を実施	1,670
合計	9か所 (植樹2か所、育林活動7か所)		3,620

※当社からは苗木提供せず、社員によるボランティア参加のみ



森と海の再生交流事業植樹祭の様子

これまでの主な植樹箇所



■ その土地本来の樹種による密植・混植を基本とした森づくり

その土地本来の森は、豊かな生物多様性を維持し、水源涵養、土砂災害の防止、保健休養の場の提供など、様々な公益的機能を果たしています。「九州ふるさとの森づくり」では、将来的に人の手があまりかからない、九州の自然植生であるシイ・タブ・カシ類を中心とした、その土地本来の樹種による森づくりを行っています。

また、より早く、その土地本来の森が形成されるように、密植(1㎡あたり2~3本程度植樹)・混植(複数の樹種の組み合わせ)を基本とする植樹に取り組んでいます。この方法を採用した植樹地の多くが、密植・混植を行わなかった箇所以上の生

育を見せており、年を経るにつれ、その効果が現れています。



植樹時



13年後(古賀市ふるさとの森づくり(福岡県古賀市))

用語集をご覧ください

>>ステークホルダー
>>低炭素社会

>>生物多様性
>>水源涵養

3. 環境月間における取組み

毎年6月の1か月間は、「環境月間」として全国で様々な行事が実施されています。当社においても、環境コミュニケーションを推進するための諸行事を展開しており、2014年度は、「きゅうでん環境月間エコチャレンジ2014～始めよう！私たちが今、できること。～」をテーマに、省エネ・節電へのご協力のお願いや、次世代層向けの環境教育などを九州各地で実施しました。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) ▶環境月間

■ 節電・省エネへのご協力のお願いと当社における取組み

街頭やお客さま対象の節電教室などにおいて、節電へのご協力のお願いを85事業所で実施しました。また、当社の省エネへの取組みとして、23事業所でグリーンカーテンを設置しました。



節電ご協力へのお願いの様子



グリーンカーテン (八代営業所)

■ 次世代層向けの環境教育

地域の小・中学校において、環境やエネルギーに関する出前授業や稚魚放流体験など、次世代層向けの環境教育を16事業所で実施しました。



稚魚放流体験の様子 (耳川水力整備事務所他)

■ 清掃活動

事業所周辺の道路や公園、海岸などの清掃活動を84事業所で実施し、自治体等が主催した清掃活動にも41事業所が参加しました。



熊本市水前寺江津湖公園での水草清掃活動の様子 (熊本支社他)

用語集をご覧ください

>>環境月間
>>環境コミュニケーション